

2022 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	塚本 美紀	職名	准教授	学位	修士 (教育学) (テンブル大学 2005 年)
----	-------	----	-----	----	--------------------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
英語教育学	異文化理解教育、異文化理解・対応力の測定、ESD(Education for Sustainable Development)

研 究 課 題
異文化理解教育に関して、異文化理解・対応力の測定について中心に考察する。また、持続発展可能な社会の在り方について、英語教育および国際理解教育の観点から考察を深めたい。

担 当 授 業 科 目
グラマー・コンポジション I (前期) 専門演習 I (前期) 教育ボランティア演習 (前期) 英語教科教育法 I (後期) 専門演習 II (後期) 教職実践演習 (中・高) (後期) 北九州の過去・現在・未来 (後期) 地域プロジェクト (後期) 教育における ICT 活用 (後期) 卒業研究 (通年) 事前及び事後の指導 (通年) 教育実習 II (通年)

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<b>授業科目名【グラマー・コンポジション I】</b> 学生が予習、授業、復習の流れの中で、学習項目を習得できるように、重要な文法項目や表現に繰り返し触れることができるよう設計されている教材を使用した。質問の時間を十分に取ったり、LINE やメールで質問を受け付けるようにしたりして、学生の疑問にすぐに答えられるようにした。また、試験前には授業とは別に勉強会を開催した。
<b>授業科目名【専門演習 I】</b> 国際語としての英語の在り方について、学生が理論と実践の両面から理解できるように、さまざまな文献を読んだり、動画を見たり、さまざまな国の人々とインターネットを利用して英語で交流したりする機会が持てるようにした。アジア太平洋地域のユースと sustainable fashion をテーマに、半年間に渡り調査及び議論を重ねる半年間にわたるプロジェクトにも参加した。
<b>授業科目名【教育ボランティア演習】</b> 北九州市環境ミュージアムで毎年実施されている「未来ホテルデー」で、子どもたちがかるたや双六を使って、北九州市の自然、文化、歴史を学べるようなアクティビティを考案し実施した。子どもたちの実態と北九州市の教育の状況について事前に調査し、子どもたちが効果的に学べるように工夫した。

<p><b>授業科目名【英語教科教育法Ⅰ】</b></p> <p>学習指導要領の改訂に鑑み、学生たちが中学校や高等学校で学んできたことと現行の学習指導要領との違いがわかるよう解説した。毎回、授業の内容に関連することについてのレポートの提出を求め、学修したことの理解を深めるようにした。</p>
<p><b>授業科目名【専門演習Ⅱ】</b></p> <p>来年度の卒業論文の執筆に備え、各学生が自分の興味のある分野の書籍や論文についてのプレゼンテーションを実施する機会を設けた。また、それについての質疑応答を通して、テーマ設定が適切であるかどうか考えさせた。</p>
<p><b>授業科目名【教職実践演習（中・高）】</b></p> <p>教育活動を行う際、どのようなリソースを活用できるのかについて議論する際、ワールドカフェの手法を取り入れた。また、教育実習での経験を活かして模擬授業の教案を作成するよう指示し、模擬授業の振り返りの時には、学生からの意見が出やすいようにいくつかの項目に分けて発言を促した。</p>
<p><b>授業科目名【北九州の過去・現在・未来】</b></p> <p>北九州市についての基礎的な事項の紹介から始まり、北九州に関する新聞記事、書籍、映像などを用いたり、外部講師による講演を行うなどして、北九州について多角的に捉えられるよう紹介した。また、それぞれが学ぶ専門分野がどのように地域に貢献できるかということについてのオンライン・ポスターセッションを行い、学生同士が互いに学ぶ機会を設けた。ポスター作成については、少数であるが指示を勘違いする学生がいたので、たくさんのお見本を提示した。</p>
<p><b>授業科目名【地域プロジェクト】</b></p> <p>地域で活躍している専門家に外部講師としてお越しいただいて、プロジェクトを実施するための必要な知識を学べるようにした。また、それぞれのテーマについて、協力を得られる外部機関等を適宜学生に紹介した。成果物の作成に際しては、授業以外でもメール等を活用し適宜アドバイスができるようにした。</p>
<p><b>授業科目名【教育における ICT 活用】</b></p> <p>新しい分野で、さまざまな実践が試されている状況であるが、中でも成果が上がっているものをなるべく紹介するようにした。また、授業の中でもなるべく ICT を活用し、授業の中でどのように使用することができるのかということを学生が実感できるようにした。</p>
<p><b>授業科目名【卒業研究】</b></p> <p>計画的に卒業論文を執筆できるように、論文の書き方や執筆のスケジュールについてのガイドラインを作成した。また、自らが設定したテーマについての思考を深められるように、定期的に進捗状況を発表してもらい、他のゼミ生から質問に答える機会をもった。</p>
<p><b>授業科目名【事前及び事後の指導】</b></p> <p>市内の中学校で英語科教諭として活躍する卒業生や英語科教諭として活躍された後管理職として高等学校で勤務されている先生に外部講師として講演していただき、いろんな面から教師としての在り方について学生が学べるようにした。また、教育実習の前にもどのような準備が必要かということを理解できるように、教育実習を経験した4年生から話を聞く機会を設けた。</p>
<p><b>授業科目名【教育実習Ⅱ】</b></p> <p>教育実習については、受け入れ校によって対応が大きく異なることもあるので、全体での指導は汎用性のあるものに留め、個別の案件については臨機応変に対応できるよう学生と電子メールや SNS ですぐに連絡がとれるようにして対応した。また、コロナ禍であるので特に体調管理については実習前から気をつけておくよう指導した。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
アクロス「英語教師のための異文化研究会」 日本ESD学会 北九州サステナビリティ研究所 日本比較文化学会	理事 (2008年8月～現在に至る)	1990年9月～現在に至る  2017年4月～現在に至る 2017年6月～現在に至る 2021年12月～現在に至る

2022年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文) 大学におけるキャリア教育の考察—女子大学人文系学部を事例として—	共	2022. 7	比較文化研究 No.148	① 女子大学人文系学部におけるキャリア教育について、文部科学省や経済産業省の方針を参照しながら考察した。 ② 共著者名 高橋幸夫、塚本美紀、神崎明坤 ③ (p.1～p.14)
日本と中国の大学におけるキャリア教育についての考察	共	2023. 3	西南女学院大学紀要 Vol. 27	① 日本と中国のキャリア教育と職業教育の定義と必要性を明らかにし、両国の大学におけるキャリア教育の在り方を探求した。 ② 共著者名 高橋幸夫、塚本美紀、神崎明坤 ③ (p.31～p.40)
Fostering Intercultural Competence of Japanese and Cambodian Students Through International Exchange Programs	共	2023. 3	西南女学院大学紀要 Vol. 27	① 日本とカンボジアの大学生が異文化間能力を高めることができるように、異文化間能力を評価するためのツールを検討し、効果的な国際交流プログラムについて考察した。 ② 共著者名 Miki Tsukamoto, Brian Nuspriger ③ (p.11～p.19)
中国の大学におけるキャリア教育の考察—人文系学部を事例として—	共	2023. 3	比較文化研究 No. 150	① 中国の大学におけるキャリア教育の実態を厦門大学の教育課程を例に考察した。 ② 共著者名 高橋幸夫、塚本美紀、神崎明坤 ③ (p.1～p.10)

2022年度 研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(翻訳)				
(学会発表) 共創社会実現のための異文化間能力の育成：日本とカンボジア学生の交流について	単	2022.5	日本比較文化学会第44回全国大会 2022年度国際学術大会 (於 山形大学)	① 日本とカンボジアの大学生の交流について、共創社会実現の観点から考察した。 ② 比較文化研究 No. 150 (p. V～p. VI)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究

研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
日本と中国における大学キャリア教育に関する研究—女子大学生の社会人基礎力の育成を中心として—	西南女学院	○ 神崎 明坤 高橋 幸夫 塚本 美紀 坂田 美登里 (林 楽 常) (王 小 燕) (張 小 光)	1,300,000

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等

団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
日本英語検定協会	面接委員	1993年7月～現在に至る
北九州 ESD 協議会	会員	2010年4月～現在に至る
Zonta International (世界の女性の地位向上を目指す国際的奉仕団体)	北九州ゾンタ アドボカシー・奉仕委員	2020年6月～現在に至る
福岡県立小倉西高等学校学校関係者評価委員会	評価委員	2021年4月～現在に至る
北九州市立ユースステーション	アドバイザーボード	2021年7月～現在に至る

学 内 に お け る 活 動 等 (役職、委員、学生支援など)

学生募集委員会 委員 (2018年4月1日~2023年3月31日)

教職課程委員会 副委員長 (2022年4月1日~2023年3月31日)

キャンパスハラスメント相談員 (2014年4月1日~2023年3月31日)

ゴールドエンZクラブ 顧問 (2014年4月1日~2023年3月31日)

教職員懇親会 委員 (2018年4月1日~2023年3月31日)

教務総合人間科学小委員会 副委員長 (2021年10月~2023年3月31日)